

第4回 新しい村魅力アッププラン検討委員会 議事録

日時：令和5年2月9日（木）14時～15時45分

場所：新しい村 村の集会所

出席者：

委員（敬称略）：

1	委員長	平林 信隆	
2	副委員長	折原 正英	
3	委員	島村 忠雄	欠席
4	委員	並木 幸夫	
5	委員	武笠 正明	
6	委員	蛭田 秀人	
7	委員	大澤 亨	
8	委員	茂木 俊二	
9	委員	八木橋 孝雄	欠席
10	委員	中嶋 庸子	
11	委員	酒井 重信	欠席
12	委員	千葉 美香	
13	委員	村田 昭仁	欠席
14	委員	吉澤 弘子	

事務局：

宮代町産業観光課	小川課長、榎本副課長、鈴木主幹、立見主任
パシフィックコンサルタンツ（株）	酒本、橋爪

1. 開会

事務局：本日はお忙しい中、検討委員会に出席いただきありがとうございます。

ただいまから、「第4回新しい村魅力アッププラン検討委員会」を開会する。

2. 前回の振り返り

事務局：議題に入る前に前回の振り返りを行う。資料1については事前に目を通していただいているため、説明は割愛させていただく。資料1についてご意見・ご質問はあるか。

3. 議題

・新しい村魅力アッププラン（素案）第1章～第3章について

委員長：以降の議事については、私の方で進行を行う。ご協力をよろしくお願いする。

本日は、新しい村魅力アッププラン（素案）に対していただいた意見と対応方針について、資料2

を中心に議論を行う。事務局より、資料 2 の魅力アップの考え方について説明をお願いする。

事務局：検討委員会の委員と宮代町の関係課からいただいた意見と対応方針を整理している。ご意見の総数は 183 あった。町の意見は体裁等についての内容が中心であったため、本日は委員からの意見を中心に説明する。(資料 2 第 1 章～第 3 章説明 略)

委員長：魅力アッププランの第 1 章～第 3 章の内容について説明いただいた。ご質問があれば頂戴したい。

委員：資料 2 の意見元の「町」と記載されている意見はどこ課からの意見か。

事務局：企画財政課、住民課、健康介護課、まちづくり建設課、議会事務局、税務課等からいただいた意見になる。

委員：産業観光課としての意見も含まれているか。

事務局：産業観光課の意見も一部含まれている。

委員：「株式会社新しい村」の表記を「指定管理者」に統一したとあるが、その表現では抽象的な印象を受ける。株式会社新しい村は、宮代町が半数以上株を有している等、特徴もあるが、この表現ではどのような会社が運営を行っているか不明確である。数カ所は「指定管理者（株式会社新しい村）」といった記載にすることはできないか。そうした対応が難しいのであれば、現在の指定管理者は株式会社新しい村である等、注釈を入れて補足説明を入れることはできないか。

事務局：庁内からの意見であったが、事業実施主体は、可能性はかなり低い将来的に変わることも考えられるため、現状に関する説明では「株式会社新しい村」、今後に関する内容では「指定管理者」と表現を使い分けている。

委員長：可能性としては低い、将来的に指定管理者が変わる可能性も考慮して、現状に関しては「新しい村」、将来に関しては「指定管理者」と記載しているということであるがよろしいか。

委員：承知した。

委員長：資料 2 は、経営会議の中で出た意見も踏まえた整理となっているか。

事務局：経営会議で説明を行った後、各課への照会の中で出された意見となっている。

委員長：経営会議に出席した課から意見をいただいているということでしょうか。

事務局：経営会議は全課を対象としている。全体に対して説明を行った後、本プランについて意見をいただいたのが先ほど説明した課ということになる。

・新しい村魅力アッププラン（素案）第 4 章～第 5 章について

事務局：（資料 2 第 4 章、第 5 章説明 略）

委員長：ご質問があれば頂戴したい。

今回の修正点は、皆様のご意見を基に整理した内容であるが、事前に意見を提出されなかった委員の皆様からもご意見もうかがいたい。機能別の強化方針と具体的なアクションにおいて、この考え方を入れておきたいということがあれば、最後の機会となるためご意見を頂戴したい。

委員：54 頁、観光周遊促進機能、「②観光窓口機能の設置検討」について森の市場 結に設けることになるか。

事務局：具体的な設置場所について、現時点で決まっていないが、利用者の皆さんの目につく場所とすることが想定されるため、森の市場 結も候補として考えられる。今後、実際の配置計画を検討する際に窓口の位置等について詳細な検討を行う方針である。

委員：東武動物公園駅西口から新しい村を結ぶ道を活性化させる、わくわくロード事業の検討にも参加している。その中では、案内窓口機能を東武動物公園駅西口の無印良品が担いイベント等の情報発信を行う方針で検討が進んでいる。新しい村の情報発信についても、無印良品と連携するのが良いのではないかと。窓口がばらばらになるともったいない。

事務局：わくわくロード事業はまちづくり建設課で行っている事業であり、町内でも連携を取っているため、議論の内容は伺っている。この事業は、東武動物公園の利用者が新しい村までアクセスしていないことが多い現状から、歩いて楽しく、わくわくするような道を整備し、西口エリアの価値を高めることを目的としている。3月18日、19日に無印良品前の広場や役場前のスキップ広場を活用した社会実験を予定している。こうしたイベントと併せた新しい村の情報発信について検討したいと考えている。

同日の3月18日に新しい村でもパルシステム生活協同組合連合会が、地域のプレイヤーと一緒にイベントを実施したいと考えており、まちづくり建設課とは情報交換しながら、まずは周知をしていきたいと思う。

観光窓口機能の設置により、新しい村だけでなく周辺の施設・イベントと連携して、町としての回遊性向上を図りたいと考えている。また、情報発信できる人が集まって意見交換する場づくりも本計画について位置づけており、連携による情報発信・観光案内機能の強化を図ってきたい。

委員：新しい村は以前からコンポストを利用して生ごみを減らす取組を行ってきた。希望として、循環型社会や農業、持続可能な社会等について学ぶ機会づくりについても追記いただけるとありがたい。

事務局：取組としては検討が必要になるが、表現を工夫して考え方を組み込みたいと思うが、その方針でよろしいか。

委員：承知した。

委員：46頁「田んぼの学校」について「自然教育学習」とあるが「食育・自然教育学習」等、「食育」というキーワードを入れていただきたい。

48頁の注釈4「圃場」についてやや難しい言葉になるのでフリガナを振っていただきたい。

52頁の「6次産業化」についても、聞きなじみがないため注釈があるとありがたい。

委員長：田んぼの学校について「食育」というキーワードを入れる、「圃場」にフリガナを入れる、「6次産業化」に注釈を入れるという3点であったが、事務局はいかがか。

事務局：反映する。

委員：埼玉県内に農業高校や、農学科を有する学校がどの程度あるか把握していないが、都心の大学の農学部を拡大を検討すること等があれば、圃場の候補地として、誘致を検討しても良いのではないかと。交通利便性も高いためポテンシャルはあるのではないかと。圃場誘致を行った際には新しい村が連携の核になると思うが、本プランには直接関係はないと思うので意見である。

事務局：宮代町は企業参入も積極的に進めており、そうした動きがあれば埼玉県より紹介がある。町が農に対して積極的に取組を進めていることは県も把握している。機会があれば、手を上げることも検討する。魅力アッププランへの反映は難しいが、ご意見として受け止める。

・新しい村魅力アッププラン（素案）第6章～第8章について

委員長：事務局より続きの説明をお願いする。

事務局：資料2では、第7章に対する意見は整理していないが、前回の検討委員会において特に活発な意見交換を行っていただいたため、資料1も適宜用いて説明を行う。

(資料1、資料2 第6章～第8章説明 略)

委員長：事務局より第6章～第8章の説明をいただいた。ご質問はあるか。

委員：74頁「水琴や風で音が鳴る装置など」について、風で音が鳴る装置とすると相当大きな音が鳴るのではないかと感じる。幾何学的な装置や風で動くモニュメントをイメージして意見した。大きな音が鳴ると近隣住民への迷惑にもなると思う。自然環境を利用する仕掛けをイメージできる表現が良い。

事務局：ご意見いただいたニュアンスが表現できるよう修正する。

委員長：音にはこだわらず、自然を活用できる、「悪天でも楽しめる仕掛け」ということは変わらないと思う。文章を修正する方針でお願いする。

委員：66頁、図49について、各主体に期待する役割を示すイメージ図の追記を提案し、意見を踏まえてわかりやすいように整理いただいたと思うが、例えば地域の生産者と町内事業者にもつながりがある。一対一の関係全てを矢印で結んでしまうと複雑になるかもしれないが、そうした部分を表現できないか。

委員長：地域の生産者と町内事業者等の個別のつながりも矢印で結ぶ等で表現できないかという意見であった。

事務局：今いただいた意見の意図を楕円で表現していた。全てを矢印で結ぶとなるとかえって分かりにくくなってしまったためこのように表現した。

委員長：文言で説明を追加する等もできるのではないかと思う。

事務局：検討させていただく。

委員長：事前にご意見を提出されなかった委員の皆様のご意見もうかがいたい。どなたかご意見はあるか。

委員：80,81頁の事業スケジュールについて、「長期（～2042）」から開始されるアクションは投資が必要となるものが多いと認識しているが、「周辺環境共生した芝生広場の空間づくり」、「水遊びエリアの整備」は短期から実施するアクションとなっている。短中長の区分にはどういった意図があるか。

事務局：「周辺環境共生した芝生広場の空間づくり」については前回いただいた意見を踏まえたものである。ベンチ等の入替等、比較的投資が少なく対応できるものも含めて整備する方針として、短期からしている。

「水遊びエリアの整備」については指定管理者である株式会社新しい村からの、令和5年度からの取組提案として「水遊びエリアの整備」があったことを受けて記載している。

委員：株式会社新しい村から提案があった「水遊びエリアの整備」とはどのようなイメージか。

事務局：直売所前の水路に石等を敷き詰め、水が滞留・循環して子供が遊べる空間を整備するイメージである。現時点では具体的な案となっていないが、大きな投資をするものではないと認識している。

委員長：比較的軽微な対応を実施していくという意図であった。

委員：「水遊びエリアの整備」に関連して、加工場の前が水浸しになる、田んぼで遊び泥がついた子どもが来る等の問題もあり、水路の水に課題があると思う。新しい村にホテルが来るように活動をしているが、去年、今年と水が水路にほとんど来なくなってしまった。ほっつけには水が必要となる一方で9月以降は用水路の水がなくなることもあり、現状のポンプだけでは限界だと感じている。要望として、ほっつけの入口に新しいポンプを設置し、洗い場や用水路として活用できないか検討いただきたい。

事務局：要望として承る。

委員長：PRの役割分担も含めて、その他ご意見はあるか。

委員：76,77頁の「民間事業者」のアクションとして、「東武伊勢崎線沿線での中吊り広告」等があるが、現在、東武動物公園駅の構内は閉まっている店が多く、また、来月社会実験があると伺ったので、電車でアクセスする方に向けて駅構内で野菜やお菓子等の販売、新しい村や宮代町を知ってもらうものがあつたらよいと感じた。

西船橋駅でよく乗換するが、駅の中で特産の野菜が販売されている。乗換の時間があるからこそ、野菜を見ることができる面もあると思うが、見ていると地域を紹介していると感じた。海浜幕張駅も大きな目的地になる場所であるが、駅を降りた場所に地元の野菜や和菓子を販売しているコーナーがあり、目につき、購入している人も一定数いる。

東武動物公園駅は、電車で来る人の玄関口であるため、駅構内でのアピールは欠かせないと思う。看板設置等も駅構内に設けることで効果があると感じる。

委員長：駅構内での地産商品の展示等に関するご意見であった。

事務局：現状、改札横に宮代町を紹介するショーケースがあり、町の特産品の模型が展示されていたが、昨年より定期的に更新している。町の特産品に関して、生産者の顔を伝えつつ、商品を発信しながら、新しい村のPRを行っている。去年は、新しい村の秋の写真がフィンランドに似ているとのことで、ショーケースに展示している写真と同じシーンを新しい村内で撮ると、新しい村でプレゼントがもらえるといったイベントを行った。今後、駅の空き店舗の活用も含めて検討を行っていく。

委員長：特産品を紹介するスペースの活用、それに加えて特産品の販売スペースについても検討いただければと思う。

・新しい村魅力アッププラン（素案）全体について

委員長：全体を通して他にご意見はあるか。

委員：魅力アッププランについて、気軽に町民が閲覧できるダイジェスト版を作成いただきたい。

事務局：概要版はかねてより作成予定である。

委員：目次の前頁に「〇〇」で記載されていない部分があるが、その他に今後追加される情報はありますか。

事務局：「〇〇」部分には町長のあいさつを記載予定である。その他、検討委員会の名簿、検討の経緯、ワークショップ結果が追加される予定である。

委員：4月から検討委員会に参加し、新しい村がこれから10年経っても成り立っていくために意見を出しながら、魅力アッププランを作成してきた。本プランに対する想いを短いコメントで表せないか。

委員長：本日欠席の島村委員からもご意見をいただいているが、どのようなメッセージを出すか検討が必要である。

事務局：今のご意見は検討委員会としてのコメントか、各委員からのコメントを想定しているか。

委員：ダイジェスト版でも内容を読み込む人は少ないため、魅力アッププランを作成した意図や方針が伝わる簡単なメッセージを計画と併せて発信できると良いという意図である。

委員長：町長メッセージや、サブタイトルで記載する、又は、冒頭に説明文を入れるイメージか。

委員：何らかの形で、メッセージが伝えられればよい。

事務局：検討委員会としての想いを発信するものと認識した。本プランができた際には、町のHPに掲載予

定である。HP 上で魅力アッププランの本体を閲覧する頁に飛ぶ前の説明書きの部分で、想いをメッセージとして示すことはできるかと思うがいかがか。

委員：承知した。

事務局：HP での示し方も含めて検討する。委員一人一人のメッセージを整理することは難しいため、委員長に一任いただければ、委員の意見を代弁する形で案を取りまとめて、委員長に確認する方針とするがいかがか。

(賛同)

委員長：承った。

委員：新しい村が「安全・安心な農産物を提供する場所」であるという内容をどこかに追記してほしい。

6 頁(1)の図4についても、少しわかりづらい。駅からの道も今後活性化されるということであるため、地図は東武動物公園駅からのアプローチとして追記し、15 分くらいでつくということが表現できるとよい。また、山崎山の雑木林や進修館等も図に表現して欲しい。

7 頁(2)新しい村周辺のなりたちについても、これまで知っているものと異なり分かりにくい。

18 頁以降のアンケート結果の円グラフについて、割合の数値や凡例の□が小さくて色が見えない。色も似た色で判別がつきづらい。

57 頁東武動物公園の裏手にもほっつけがある。ここが元来のほっつけに近いと思っている。ほっつけに木道を通して、東側のほっつけからアクセスすることも考えられるのではないか。

事務局：ご意見を踏まえ修正を検討する。

委員：「東武伊勢崎線」について、「スカイツリーライン」と記載しないか。

事務局：「スカイツリーライン」は愛称であり、正式には「東武伊勢崎線」である。ほっつけの場所はどこを指しているのか。

委員：村の集会所の裏手である。芦原があるが活用できるのではないか。東京近辺の人にとっては貴重な環境であると思う。

事務局：最後の内容に関してはご意見として承る。

委員長：貴重なご意見ありがたく思う。

4. 今後の検討スケジュールについて

委員長：今後の検討スケジュールについて事務局より説明をお願いする。

事務局：(資料4説明 略)

委員長：今後の検討スケジュールについてご質問はあるか。

(意見なし)

5. その他

委員長：以上を以て本日の議題はすべて終了した。事務局に進行をお返りする。

6. 閉会

事務局：平林委員長、議事進行いただきありがたく思う。計4回の検討委員会の議論でいただいた前向きな意見がこうしてプランという形にまとめられたのは皆様のご協力のおかげである。今日いただいた意見を反映させた後、パブリックコメントを経て、冊子としてとりまとめる。新しい村魅力アッププランが完成しましたら、皆様のもとにお送りさせていただく。4月中にはお送りできるかと思う。

そして、検討委員会は本日が最終回となる。8月より半年以上に渡り、お忙しい中、ご協力いただき大変ありがたく思う。平林委員長をはじめとする委員の皆様にご意見をいただき、素晴らしい魅力アッププランが作成できた。来年度については、事業スケジュールに記載しているが、新しい村のアグリ部門の設備更新について予算計上している。新しい村魅力アッププランに係る事業がさっそく展開される予定である。事業に関しては魅力アッププランに基づき順次展開する方針であるが計画策定後も、引続き新しい村の魅力アップの実現に向けて、お力添えをいただけたら幸いである。

最後に、今後も時間がありましたら新しい村に足をお運びいただき、温かく見守り、時には叱咤激励いただけると幸いである。以上で第4回「新しい村魅力アッププラン検討委員会」を閉会する。